



## 1/6 新春に日本の伝統、書に触れる

**新** 春恒例の新春こども書き初め広場が高志書道会（佐々木慶雲主宰）の協力により市民文化センター多目的ホールで行われ、市内の幼児から小学生まで合計40人が参加しました。

参加者は「おとし玉」や「初日の出」など新春にちなんだ学年ごとの課題について、手本を見ながら一字一字丁寧に筆を運び、伝統文化に触れました。

13日には表彰式が同センターで行われ、参加者一人ひとりに賞状が手渡されました。



## 1/9 市民の安全を願い消防出初式

**名** 寄消防署署員と名寄消防団（長谷川米茂団長）団員が参加した平成24年名寄消防出初式が3条通りで行なわれました。人員報告、観閲に続き、災害のない年を願って団員による見事な登梯（とてい）が披露。市内ホテルに移動しての式典では、各種表彰ののち加藤剛土上川北部消防事務組合管理者による告示などが行なわれました。

また、7日には風連消防団（山崎清士団長）による出初式も行なわれました。



## 1/12～13 森で野外活動－森のたんけん隊2012－

**幌** 加内町母子里の北大雨竜研究林で、名寄市と幌加内町の児童ら約30人が寒い冬の森で野外活動を行いました。

1日目は、かんじきを履いて探検開始。樹木の名前や太さ、高さの特徴をクイズ形式で学んだり、イグルーやスノーランタン作りを体験。夕食後にはアイスクリーム作りを楽しみました。

2日目の森の宝探しでは、深雪の中に埋められた宝箱を探す子どもたちの歓声が森に響いていました。

